

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-203326
 (43)Date of publication of application : 30.07.1999

(51)Int.Cl. G06F 17/30
 G06F 17/21

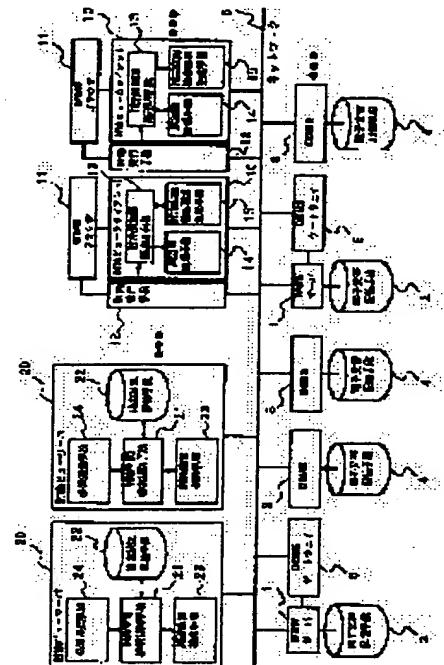
(21)Application number : 10-020308 (71)Applicant : FUJI XEROX CO LTD
 (22)Date of filing : 16.01.1998 (72)Inventor : UENO YUICHI

(54) ELECTRONIC DEBATE SUPPORTING DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an electronic debate supporting device for presenting and analyzing the present situation of debate according to the taste and intention of a user while being linked with an electronic debate system for performing debate by storing and reading an opinion in the form of an electronic document.

SOLUTION: A client 10 is provided with a user interface, and a server 20 device is provided with an electronic document extraction functioning part. The user interface accepts the input of a retrieval expression from a user, and transfers the retrieval expression to an electronic document extraction functioning part, and receives the retrieved result extracted by the electronic document extraction functioning part, and displays the retrieved result. The electronic document extraction functioning part retrieves the substance or reference of plural electronic documents suited to the retrieval expression, divides those retrieved results for each debate management data for extracting the electronic documents, generates retrieved result management data including the logical position information of debate management data being the origin of extraction of the substance or reference of the electronic documents and the substance or reference of the plural extracted electronic documents, and provides those plural retrieved result management data to the user interface as the retrieved result based on the retrieval expression.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(11)

トワーク 5 項目で討論室問診検査要求を受信し、その要求の体別により検査要求の対応または取消処理を行うものである。また、討論室問診検査調理手続 2-1は、検査連携手続 2-4に検査要求を送信して他の精算ビューサーバ 2-0との連携を図ったり、検査要求に対する定期的に検査を行なうための出诊スレッドを新たに作成するなどの運用も行っている。

[0069] すなわち、图 13に示すように、討論空間検査室問診手続 2-1は、実験開始時ににおいて、手続さ「討論室問診検査調理」を実行し、この手続さはステップ s-1-0-0-1において「インベントリ化」のための無限ループに入る。このループ内では、ステップ s-1-0-0-2が「インベントリの処理」を行い、取得したイベントとが「新規検査要求の到着」をすなわち討論空間検査調理手段 2-1が検査要求を受信した場合には、ステップ s-1-0-0-3からステップ s-1-0-0-4 以降の一連の処理に分岐する。

[0070] ステップ s-1-0-0-4では受信された検査要求を取り出し、ステップ s-1-0-0-5でこの検査要求が「検査実施手続 2-2」にすでに登録されているかを検査要求に含まれている検査要求 IDを用いて判定する。もし、後者要求が検査実施手続 2-2に登録されていない場合には、処理は s-1-0-0-6 以降に移行し、ステップ s-1-0-0-6では検査要求 IDを検査要求に含まれている検査要求 IDを用いて検査実施手続 2-2に登録するとともに、この検査要求に対する

心する傾向があると判断する。なお、検査状況についても後に説明する。

0.07.1) そして、ステップ s-1-0-0-7、s-1-0-0
0.08において、「検査状況」の検査要求 ID を取り出し、さらに、この ID を認証情報に記入した「検査申請スレッド」を新たに生成する。この処理において、後述する手順が実行され、「検査申請スレッド」に「作成された処理を実行する」レッドが形成される（このフレームによる処理は、他の処理から隔離して並行実行される処理になる）。さらに、ステップ s-1-0-0-9において、検査要求 ID を検査申請手続段階 2.4 に渡すことにより、相應の用語を検査申請手続段階 2.4 の動的処理動作を行わせる。なお、検査申請手続段階 2.4 の動作は後に説明する。

0.07.2)一方、取得したイベント e が「検査申請要求の到着」すなわち前論空調系統検査申請手続段階 2.1 が検査申請手続段階を受信した場合に、ステップ s-1-0-0-10 からステップ s-1-0-1-1 までの処理が開始する。ステップ s-1-0-1-1 では受け取られた検査申請要求を取り出し、ステップ s-1-0-1-2 で検査申請要求より取扱対象の「検査申請手続段階 1-D」を設定する。そして、ステップ s-1-0-1-3 では、この後検査申請手続段階 2.2 に存在する検査申請が検査申請手続段階 1-D に対応するかを判定し、もし、存在する場合にはステップ s-1-0-1-3 が確定し、もし、存在する場合にはステップ s-1-0-1-4 までの処理に移り、ステップ s-1-0-1-4 において、検査状況監査手続

段2から1dに対応する検査状況を削除し、1dに残る段2を削除する。また、ステップs-1-0-1-0-6では、検査取扱い段2に複数回することにより複数の脚部ピューサー(2.0間)の運動動作を行わせる。なお、検査連続手段2.4の動作は後に説明する。

[0073] 図14には、上述した「検査制御システム」の処理内容を示しており、この検査制御システムは装置dに接続して、装置dを操作して生成される。まず、検査要件IDを提出して、検査要件IDを提出されると、ステップs-2-0-0-1において、検査状況記憶手段dによって、検査要件IDから検査式Qを抽出され、次に、ステップs-2-0-0-2において検査要件IDから検査結果記憶手段dによって、検査結果記憶手段dのためのループへに入る。ループ内では、定期間隔たった後(ステップs-2-0-0-4)、被験式Qを用いて討論空間検査手段dに討論空間検査を行わせて検査結果aを得て、(ステップs-2-0-0-5)、さらに、検査状況記憶手段dによって検査状況を更新し(ステップs-2-0-0-6)、検査結果記憶手段dを廃棄結果送信手段bに返す(s-2-0-0-7)、といった処理を繰り返す。

[0074] 図15には、検査状況記憶手段2.2が情報を示している情報データ構造を示してある。検査状況記憶手段2.2には、図示のように検査要求とその検査要求に対する検査結果との対を基本としたリスト構造が格納さ

りが指している論議的判断規則テーブルの行に移しつづけられる「既成リスト」と、「四通りリスト」の問題規則の質と、**「」**に現れる規定「**「」**」の辺に指定期間規則が用いられる。d) の指す論議規則管理テーブルの行が、検査式 q) に現れる論議規則式のうちの一つでもマッチすれば、この論議規則は適合すると判定される。ただし、規定「**「」**」の辺が何の場合には、必ずマッチする。なお、企画監修規則式のマッチの判定は、上述した論議規則表示の意味にに基づいて判定される。すなわち、各企画監修者が意味付ける既成規則や問題規則の一致と、それら企画の間の論議規則の意味にに基づき判定される。

例題 7-1 d) の指す論議規則が適合する場合には、処理はステップ s 3-0-7 へ分岐する。ステップ s 3-0-0-7において、変数 q) に d) が指す論議規則管理テーブルの行に適合する論議規則のみを抽出し出力で変数 p) を生成する。これを変数 a 0-0-8 では、既成リストを生成し、これを変数 a 0-0-9 に移しつづける。次いで、ステップ s 3-0-0-9において、変数 d) が指す論議規則管理テーブルの行に移しつづけられている意匠判断規則テーブルの先頭を指すポインタを変数 a) に代入する。

【0078】そして、ステップ s 3-0-1-0 で意匠規則テーブルの行を先頭から末尾まで走査するループに入り、ステップ s 3-0-1-1において、a) が指す意匠規

牌データベースからその他の意思管理テーブルからだされたる意見本が牌意思人式に適合するかどうか判定される。この判定には、ボイントアドが持っている意見管理テーブルの行に記載されている「操作性リスト」の各属性値および「閾値リスト」の閾値操作性の値および意見本文と、検索式⑨の各種論議操作に記載の閾値式「 t 」の右辺に指定される部分論議操作が一致する。 t の右辺を意見管理テーブルの行における意見本文が、検索式⑨に現れる部分論議操作のうち、でもマッチすれば、この意見は適合すると判定される。ただし、閾定式「 t 」の右辺が皆の場合は、必ずマッチする。なお、部分論議操作形式のマッチの判定は、上述した論議空間操作式の意味に基づいて判定される。すなわち、各部分論議操作が意味対応する操作性や問題解決別別語やキーードの一致と、それら述語の間の論議論算の意味にに基づき判定される。

【例】9.1 そして、上の指す意見が適合する場合には、処理部はステップ3-1-2へと分岐し、リスト3-0の末尾にアドが持つ意見テーブルの行が追加される。ステップ3-3-0-1-3では、意見管理テーブルの行を表示するボイントアドを先に選め、ループ3-3-0-1-0の先頭に戻る。このループは、意見管理テーブルの末尾まで達すると終了し、廻則はステップ3-3-0-1-4に分岐する。ステップ3-3-0-1-4においては、アドが空リストでないかすなわち何らかの適合意見が見つかっている場合

は、処理はステップ s 3-0 1 5 に分岐し、検査結果の構成を行う。ステップ s 3-0 1 5 では、変数 a 1 の値が引出付論理閾値管理テーブルの行を参照して転びつなき。さらに、ステップ s 3-0 1 6 では、変数 a 1 の値見りリストを適合意思のリストである変数 a 0 につながる。これにより、適合意見のみからなる意見リスト a 0 を意見リストとして持った討論性制を表現する、新たに論議性閾値管理テーブルの行 a 1 が構成される。そして、ステップ s 3-0 1 7において、検査結果 a 1 にこの新たな討論性閾値管理テーブルの行 a 1 を追加する。

[0080] また、ステップ s 3-0 1 9 では、出論管理テーブルの行を掛けオイント d p を先に進め、ループ s 3-0 0 5 の先頭に戻る。このループは、論議空間に論議性テーブルの末尾まで進ると終了し、ステップ s 3-0 1 9にて、結果 a 0 を返す。このように、本例における検査結果は、適合する論議性制について、適合する意見群を抽出してそれをリスト化する形となる。

[0081] 図 1 1 7 は候選選手段 2 4 の動作を表現する PADTである。この例における検査結果選択手段よりは、検査要求 r とともに付論議閾値管理手段により呼び出される。まず、ステップ s 4-0 0 1において、你が要求 r の検査要求に対する選択肢が所定の h(s (ホップ数) が付論議性ユーザーババ) に予め定められている以下であり、なおかつ、検査要求伝搬路階層に自己ホスト名が含まれていない場合に、ステップ s 4-0

0.2以降に分かれてその処理を行う。この条件が満たされないと、検索結果がいつまでも消滅せずにネットワーク上に止む。

[0.08.2.1] ステップ s 4 - 0 0 2 では、検索要求 r の検索要求は階層階層のツリードルに IPホストを追加し、新たな検索要求 r' を得る。そして、ステップ s 4 - 0 - 0 3、4 - 0 0 4 では、前述の方法でホスト (これは、各討論ペーパーサーバからすでに登録されている) 各々に検索要求 r' を配達する。検索要求 r' を応答する相手 F₁、相手ホスト d の論議空間識別符と相手子段手順である。

[0.08.2.3] 「討論ペーパーライアントの動作」[0.1] に示したように、本実施形態の巡回的討論支援装置では、討論ペーパーライアント 1.0 は WWW プラウザ 1.1 および相手巡回的討論手順 1.2 と協調して動作する。この討論実行手順 1.2 は討論空間中の意見を見込んで、討論空間中に新たなる意見を置いたりするための機能であり、本実行が巡回的討論手順の一部としている電子会議システムのインフラである。

[0.08.3] [0.1] には本実施形態における、WWW プラウザ 1.1 から見たユーザインターフェースの一例を示しており、同時に F₁ および F₂ が巡回的討論手順 1.0 の流れであり、F₃ は討論ペーパーライアント 1.0 が向うるユーザインターフェースである。この図 1.8 に示す状態では、表示領域 F₃ には「検索」と「検討室 A」「討論空間の他の議論討論室へのリンク」と表示される現在

(12)

(13)

[0.087] 一方、ステップ s 5-0-0 3において、イベント e が部分討論空間へのアクセス要求であった場合に、処理はステップ s 5-0-0 4に分岐する。このイベントは、ユーザが図 1.8 に示した表示領域 F 3 上で部分討論空間の人にタップクリックなどの操作のアクションを起こした際に発生する。この場合、ステップ s 5-0-0 4において、ユーザのアクションにより指定された部分討論空間を特定し、更に、ステップ s 5-0-0 5で、討論進行手段 1.2 に対して部分討論空間の表示を求める。この結果、図 1.8 に示した表示領域 F 2 上に、ユーザが指定する部分討論空間が表示される。これにより、ユーザは自分の興味に沿った討論の部分に対して署名やアクセスをおこなうことができる。

[0.088] 一方、ステップ s 5-0-0 6において、イベント e が表示討論領域の変更要求であった場合には、

(14)

-0-0-2において、イベントeを取得し、ステップs-6
-0-0-3においてイベントeが討論半開閉結果の返信である場合は動作を起こす。

[0-0-9-3] そして、ステップs-6-0-0-4において、返信された結果から検討結果を算り出し、これをもとに、ステップs-6-0-0-5において、討論空間の構成を行な結果をもとに代入する。本実施形態では討論空間結果は構造を持たないので、部分討論空間への入力を何からどのオブジェクトの管理番号リレーに則って処理するだけの選択を行なうが、もちろん、他の構成を行なっても構わない。そして、ステップs-6-0-0-6において、討論空間開閉処理U1段13に対して、討論空間結果をもとに更新するよう要求する。上述したように、この要求は、討論空間開閉処理U1段13ではイベントとして頂取され、更新が行われる。

、ユーザーの興味に応じて部分が該当用が変化していく。また、この時間軸通りにい、今までユーザの興味に留まなかった「計画空間2」が新たにユーザの興味の対象として出現している。図2.5には図2.4に示した状態通り、さらには「計画時間が過ぎたときの状況を示してある。さらにユーザの興味に合致する部分が該当空間が変化している。本例においては、このような討論の目的的に要する状況をユーザが操作することなく自動的に追跡し、常に応じて簡単にアクセスすることができるようにな

0 0 9 7 次に、本発明に係る第2の実施形態について説明する。本実施形態における実際の構成および評論
問題の構造は上記の第1の実施形態と同様である。ただし、小論説部分の略述は省略するため、説明する。

0 0 9 8 「第2実施形態における討論ビューの概要」
本実施形態におけるサービスおよび討論掲示板の概要構成は图2.6に示すようであり、第1実施形態との差異は、ユーザの意図として、検索式（query）のみを用いる点である。この特徴は、例えば、時間軸や免費などの文字列情報などをらず、検索轴（axis）を利用可能にしている点である。

0 0 9 9 「討論ビュークライアントの動作」本実施形態では討論掲示板には構造がなかったところ、実施形態では指定した仲間側に沿った構造化を行なうことができるようになつた。これにより、討論掲示板の中の各部会討論空間の位置づけを明確化でき、ユーザは討論掲示板をさらに正確に找出するようになつた。本実施形態では、第1実施形態と異なり、討論掲示板段階1が仲間側で会つた討論空間を構成する。本実施形態では、部分的に変更されている。以下にこの変更部分について説明する。

0 0 9 10 「討論ビュークライアントの表示」本実施形態における、WWWブラウザ1から見たユーザインターフェースの例を图2.7に示してある。第1実施形態と異なり、图2.7中の領域F3のインタフェースデザ

ンが変更されている。第1実施形態ではここには「検索」というボタンが表示され、検索結果の入口が構造をもつたすに表現されていたが、本実施形態では、部分討論画面の人気アイコンが2つの検索轴（axis）により表示される2次ダグラフ上にマップされる。所持者の選択や検索結果を評価してその検索轴へ導くための評議の入り口を用いていくことになる。もちろん、検索結果の入り口は、他の部分討論空間の入口が構造をもつたすに表現されており多角的であることが本実施形態の特徴であるので、表現形態としては、3次元表示やより複雑な表示を制限させたものなど他の様々な形態をとることも可能である。

[10104] 次に、本発明に係る第3の実施形態について説明する。本実施形態における討論空間の構造は第1の実施形態と同様であるが、装置の構成および討論空間の概念は若干異なるため説明する。

[10105] 「第3実施形態における討論空間の構成」本実施形態では、サービスおよび討論空間の概念構成は图3.1に示すようになっており、これは上記の第2実施形態と同様に、検索系(query)と所燃袖(xaxis)に基づく駆動討論空間へのアクセス手段をユーザーに提供するものである。第2実施形態との違いは、討論空間再生手段3.0が追加された点にある。討論空間再生手段3.0は各討論ビューカlients(1.1)における討論空間部の状況を統合することで、ユーザが他の場所の場所を検出し、さらに、それを各ユーザがドッパするものである。この討論空間再生手段3.0の導入により、多くのユーザが共通で操作可能となり、同時に討論空間の複数の場所に同時に接続することができる。この場合、廻避処理は、ステップs-8-20、ステップs-8-21に分けて、討論空間を新しい所燃袖に割って増長する。

[10106] 「第2実施形態における動作例」图2.9および图2.10は、本実施形態における動作例を示してある。玉串の初期が、最近3時間の議論の割合を示す。玉串、さらには、先輩かどうかのような認証をもつてなされたか否かを介させて取りたいとする。この場合、ユーザはまず自身の興味を表示してから、討論ビューカlient

[10107] 「第3実施形態における動作例」图3.2は、本実施形態の装置の構成から、

0を用いて、これを μ ビーサーバー \bar{B} に送信する。この場合の送信は“article-arrival”(以見先-時刻、[3時間前、現在時刻])となる。そして、ユーパス討論論問題を表する座標軸を決定す。例2.9では、筋が右で“立見先-時刻”と“立見先-時刻”が選択されている。

[例2.9]図2.9に示す状況は他の状況であり、時刻では、討論論問題の持方ににおいて、部分討論空間の人間を表現する形は、議論する討論部分空間の属性的範囲を示している。例えば、“D space-1”で表される“討論空間1”的部分討論空間に対する人間は、この部分討論空間で最も早い発言の時刻が9：00であり、最も新しい発言の時刻が10：30であること

したときに発生するものである。このイベントに対し、
処理はステップ s 9-0-2 に分岐する。ステップ s 9-
0-2 では、討論空間関連情報「を取得し、ステップ
s 9-0-2 でこれを記憶する。記憶された討論空間關
連情報「は討論空間関連表示の手続さ（ステップ s 8-
0-0.8、s 8-0-1.3、s 8-0-2.3）において利用さ
れる。なお、閲覧情報「のデータ構造は、開通する討論
空間 ID となる集合である。

【10.1.8】また、もう一つの変更点は、ステップ s 9-
0-1.4、s 9-0-1.5およびステップ s 9-0-2.4、
s 9-0-2.5の追加である。これは、討論空間関連情報
が修正された際に、討論空間関連表示手続 s 1-6 に付し、
討論空間の間の新たな関連情報を渡すものである。ステ
ップ s 1-6 は、現在の討論空間情報を渡すものである。

【10.1.9】また、第 1 項の変更点は、討論空間関連表示手續 s 1-6 に付し、
いて、所定の部分討論空間へのアクセスを許可するこ
とができる。このように、本実施形態では距離情報を導入す
ることで、ユーザは、現在の討論の状況をより正確かつ
適切に質にまで踏み込んで判断できるようになる。

「**ステップ 9-0-14**または**9-0-24**では、更新／修正された会議記録や会員の間の関係情報を探出していける。本会員が他の会員に会員登録権限を表現する。本会員が所属する部会がある一定以上の大きさである会員登録権限は開通ありと判断される。もちろん、討論空間は開通する。会員登録権限によって討論空間を表現する会員登録権限の重い側のユーカリックドメインやその他の構成など、他にも様々な属性の会員登録権限を利用できる。そして、ステップ 9-0-15 またはステップ 9-0-25において、討論空間開通権限下段 1/6 に討論空間開通権限を渡している。

【論理空間開通権限下段 1/6 の動作】**W3C** 第 3.4 項第 3.4.3 会員登録権限における討論空間開通権限下段 1/6 の動作を規定する W3C API である。この動作は実行後すぐには第 3.4.3 会員登録権限における討論空間開通権限下段 1/6 の、ステップ 9-0-0-1において黒限ループに入

を持ち、ステップ s 1-0-0 3では、受けたイベントが討論空間開通情報の発信である場合にステップ s 1-0-0 4に分岐する。このイベントは上述したように、討論空間開通 URL 下段 1-3が発生する。

【0110】ステップ s 1-0-0 4では、討論空間開通情報を取り出し、ステップ s 1-0-0 5にてこれを討論空間開通子段 URL 3-0へ送信する。討論空間開通情報を生成子段 URL 3-0の側で先に受けられる討論空間開通情報のデータは、同 3-5に示すように、この前の情報を譲渡するための「討論空間開通情報 1D」、情報の先発性を認識するための「発行元識別番号」、関連する討論空間のデータを含んでいる。「一方、共合会合も【討論空間開通情報】を含んでいる。一方、ステップ s 1-0-0 6では、受けたイベントが討論空間開通情報の發信である場合にステップ s 1-0-0 7に分岐する。このイベントは、討論空間開通子段 URL 3-0から新たな討論空間開通情報を受信した際に発生する。ステップ s 1-0-0 7では、討論空間開通情報を取り出し、ステップ s 1-0-0 8にてこれを討論空間開通 URL 下段 1-3へ送す。

【0111】「討論空間開通子段 URL 3-0の動作」
6は第3実施形態における討論空間開通子段 URL 3-0の

に、ステップ s 1 - 0 0 1において変数 s を常に初期化する。この変数は後述のように、ループ内で前回の処理時ににおける出力空間の判別情報候補を記憶するものである。そして、ステップ s 1 - 0 0 2で無限ループに入り、ループ内では、ステップ s 1 - 0 0 3でイベント情報を待ち、ステップ s 1 - 0 0 4において、イベント e が判別空間内に出現する場合であれば、ステップ s 1 - 0 0 5に分岐する。このステップは、判斷空間内に出現した場合 3.0 が各名義論理クリティカルアント 1.0 の判断空間内に存在する。

[0 1 1 2] ステップ s 1 - 0 0 5では受けた試験条件間接情報 e を取得し、ステップ s 1 - 0 0 6でこれに応じて前段 1.6 より引論空間間接情報 e を受信した際に実行する。

れをもとに討論室間連携状況を示す。討論室間連携状況は、图3-5に示したように四つある討論室間の連携情報は、图3-6に示すように四つある討論室間の集合の集合である。討論室間連携生成下限3.0は各討論室が集約するためのテーブルは、图3-7に示すように、本実施形態における各討論室間連携情報がどのようになっているかを保持している。

【0113】ステップS11-006では、討論室間連携情報をこの表に反映させた後、この表全体から四つある討論室間D集合々について、同一の実行かいいくつ現れているか計算し、前記の表上に現れている場合は討論室間連携情報として取り出す。すなはち、多くの討論室が各討論室間連携情報をとして取り出す。すなはち、「開発元」で「開発元」と記載されている

変数 s_1 に代入される。ステップ s 11-0-0 7 において、中村洋介の空調情報は記載されている。変数 s_1 が前回の際連絡空調情報を記載している。変数 s_1 と異なる場所に記載され、異なる場所では、他の変数と異なるかどうかを検討され、異なる場合は、処理はステップ s 11-0-0 8 に分岐する。ステップ s 11-0-0 8 では、この新たな際連絡空調情報を記載する。ステップ s 11-0-0 9 で前回の際連絡空調情報を記載する。そして、ステップ s 11-0-0 9 で前回の際連絡空調情報を記載する。

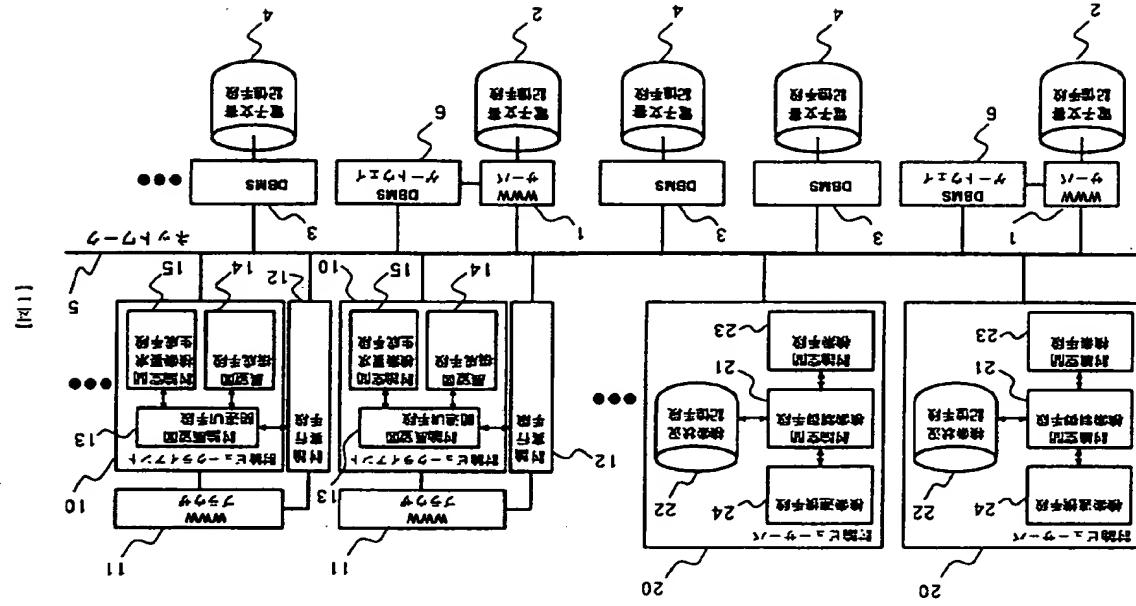
図 11-14 「第3次実施形態の動作例」図 3-8 に第3次実施形態の動作例を示す。同回では、ユーザ A、ユーザ B、ユーザ C の 3 ユーザが本装置を使用している。ユーザ B、ユーザ C の側面の観察から見ると、「討論空間 1」と「討論空間 2」が開閉操作が高くなる。討論空間開発では、空調性能段階 3 0 は、これを実現し、ユーザ A にもこの集中結果をフィードバックする。ユーザ A の側面の観察では、「討論空間 1」と「討論空間 2」は開閉しない状況ではあったが、同のように、新たに「討論空間 2」との開閉操作が示される。これにより、ユーザ A は、現在他のユーザの側面の空調の大勢は「討論空間 1」と「討論空間 2」との間に互通する「何か」にあることを知る。ただし、空調空間 2 へができ、新たに、思いがけなかった「討論空間 2」へ

例の部分上、わざかユーザーB、ユーザーCという2ユーザーの興味の合意により、「討論空間1」と「討論空間2」が別途有りと判断されるようだに表現しているが、本末この判断には、もつと多くのユーザーが必要であることはさうでもない。

(17)

- ことができ、特に、意見の寄せられた場所やそれまでの経緯の中で誰の意見が把柄出来るようにする検査結果の選択およびユーザー・インターフェースが提供されるところから、ユーザは討論の現状把握および進捗追跡をより簡便かつより正確に行えるようになる。
- 【図11】また、本発明は、ユーザの動向全体をファードバックすることにより、「多くのユーザが興味を持っている討論や削除」という、個人の興味を超越した「全体の興味の在処」という新たな概念からの現状把握機能をもユーザは提供することができる。これにより、ユーザが興味を持つている討論や削除と、多くのユーザが興味を持つている討論や削除だけれど、どちらのユーザは討論の現状把握および進捗追跡を全体動向を見渡すにいたる大局的な視点から行えるようになる。
- 【技術的背景説明】
- 【図1】 第1の実施形態に係る電子的討論支援装置の構成を示す図である。
- 【図2】 第1の実施形態に係る討論会則の監修的構造を示す図である。
- 【図3】 第1の実施形態に係る討論会則の監修的構造を示す概念図である。
- 【図4】 討論会則のデータ構造の一例を示す図である。
- 【図5】 討論会則のデータ構造の一例を示す図である。
- 【図6】 討論会則のデータ構造の一例を示す図である。
- 【図7】 討論会則のデータ構造の一例を示す図である。
- 【図8】 論理演算「*」の意味を説明する概念図である。
- 【図9】 論理演算「+」の意味を説明する概念図である。
- 【図10】 論理演算「#」の意味を説明する概念図である。
- 【図11】 討論会則検索要求の構成例を示す図である。
- 【図12】 討論会則検索要求の構成例を示す図である。
- 【図13】 討論会則検索要求の構成例を示す図である。
- 【図14】 討論会則検索制御スレッドの処理内容を表現するPAD図である。
- 【図15】 檢索会則検索要求手段のデータ構造の一例を示す図である。
- 【図16】 討論会則検索手段の動作を表現するPAD図である。
- 【図17】 檢索会則検索手段の動作を表現するPAD図である。

(16)



[図1]

[図2]

[図3]

[図4]

[図5]

[図6]

[図7]

[図8]

[図9]

[図10]

[図11]

[図12]

[図13]

[図14]

[図15]

[図16]

[図17]

[図18]

[図19]

[図20]

[図21]

[図22]

[図23]

[図24]

[図25]

[図26]

[図27]

[図28]

[図29]

[図30]

[図31]

[図32]

[図33]

[図34]

[図35]

[図36]

[図37]

[図38]

[図39]

[図40]

[図41]

[図42]

[図43]

[図44]

[図45]

[図46]

[図47]

[図48]

[図49]

[図50]

[図51]

[図52]

[図53]

[図54]

[図55]

[図56]

[図57]

[図58]

[図59]

[図60]

[図61]

[図62]

[図63]

[図64]

[図65]

[図66]

[図67]

[図68]

[図69]

[図70]

[図71]

[図72]

[図73]

[図74]

[図75]

[図76]

[図77]

[図78]

[図79]

[図80]

[図81]

[図82]

[図83]

[図84]

[図85]

[図86]

[図87]

[図88]

[図89]

[図90]

[図91]

[図92]

[図93]

[図94]

[図95]

[図96]

[図97]

[図98]

[図99]

[図100]

[図101]

[図102]

[図103]

[図104]

[図105]

[図106]

[図107]

[図108]

[図109]

[図110]

[図111]

[図112]

[図113]

[図114]

[図115]

[図116]

[図117]

[図118]

[図119]

[図120]

[図121]

[図122]

[図123]

[図124]

[図125]

[図126]

[図127]

[図128]

[図129]

[図130]

[図131]

[図132]

[図133]

[図134]

[図135]

[図136]

[図137]

[図138]

[図139]

[図140]

[図141]

[図142]

[図143]

[図144]

[図145]

[図146]

[図147]

[図148]

[図149]

[図150]

[図151]

[図152]

[図153]

[図154]

[図155]

[図156]

[図157]

[図158]

[図159]

[図160]

[図161]

[図162]

[図163]

[図164]

[図165]

[図166]

[図167]

[図168]

[図169]

[図170]

[図171]

[図172]

[図173]

[図174]

[図175]

[図176]

[図177]

[図178]

[図179]

[図180]

[図181]

[図182]

[図183]

[図184]

[図185]

[図186]

[図187]

[図188]

[図189]

[図190]

[図191]

[図192]

[図193]

[図194]

[図195]

[図196]

[図197]

[図198]

[図199]

[図200]

[図201]

[図202]

[図203]

[図204]

[図205]

[図206]

[図207]

[図208]

[図209]

[図210]

[図211]

[図212]

[図213]

[図214]

[図215]

[図216]

[図217]

[図218]

[図219]

[図220]

[図221]

[図222]

[図223]

[図224]

[図225]

[図226]

[図227]

[図228]

[図229]

[図230]

[図231]

[図232]

[図233]

[図234]

[図235]

[図236]

[図237]

[図238]

[図239]

[図240]

[図241]

[図242]

[図243]

[図244]

[図245]

[図246]

[図247]

[図248]

[図249]

[図250]

[図251]

[図252]

[図253]

[図254]

[図255]

[図256]

[図257]

[図258]

[図259]

[図260]

[図261]

[図262]

[図263]

[図264]

[図265]

[図266]

[図267]

[図268]

[図269]

[図270]

[図271]

[図272]

[図273]

[図274]

[図275]

[図276]

[図277]

[図278]

[図279]

[図280]

[図281]

[図282]

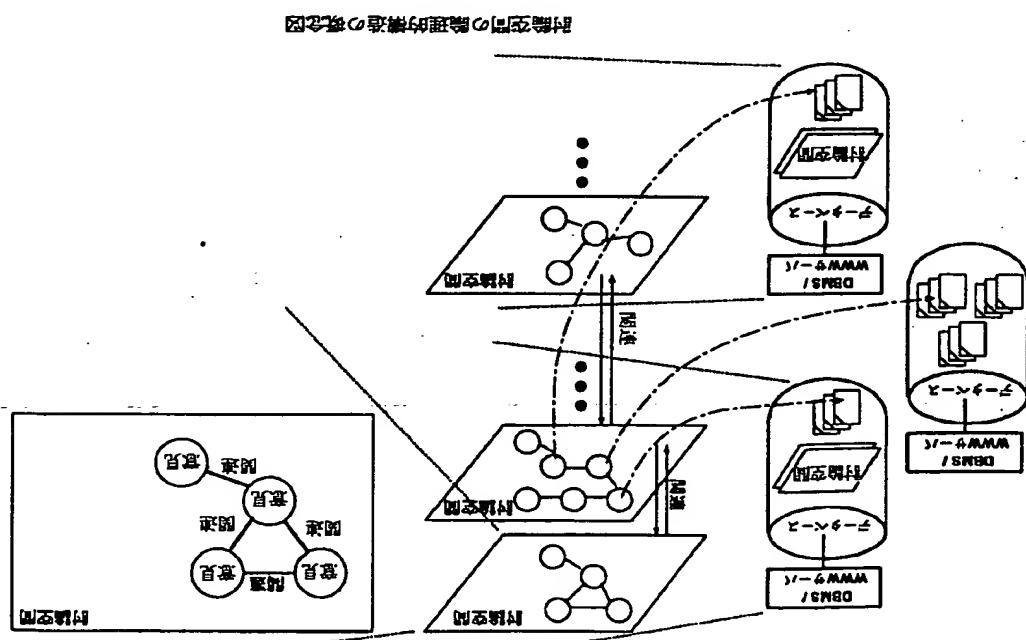
[図283]

[図284]

[図285]

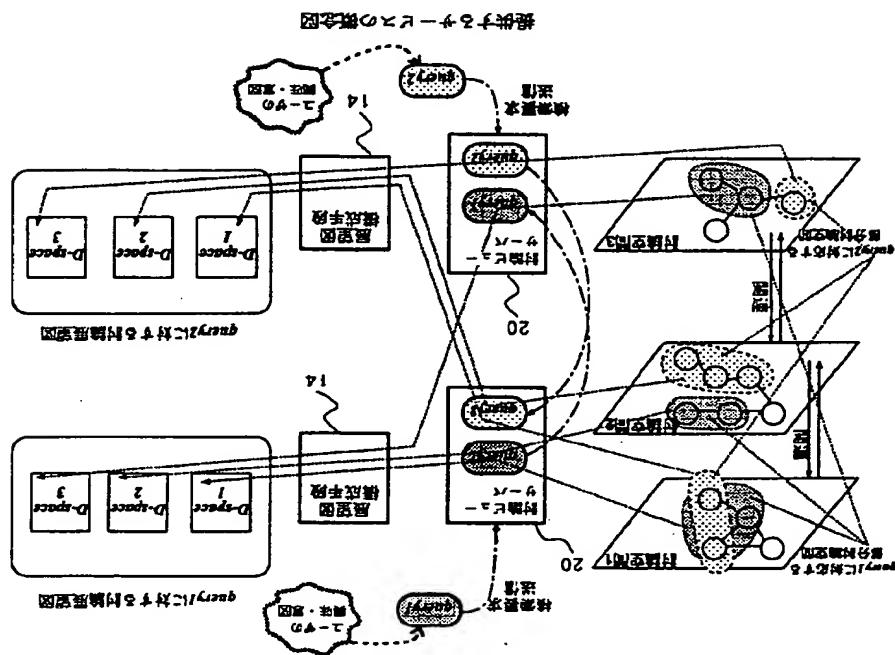
(19)

[图1]

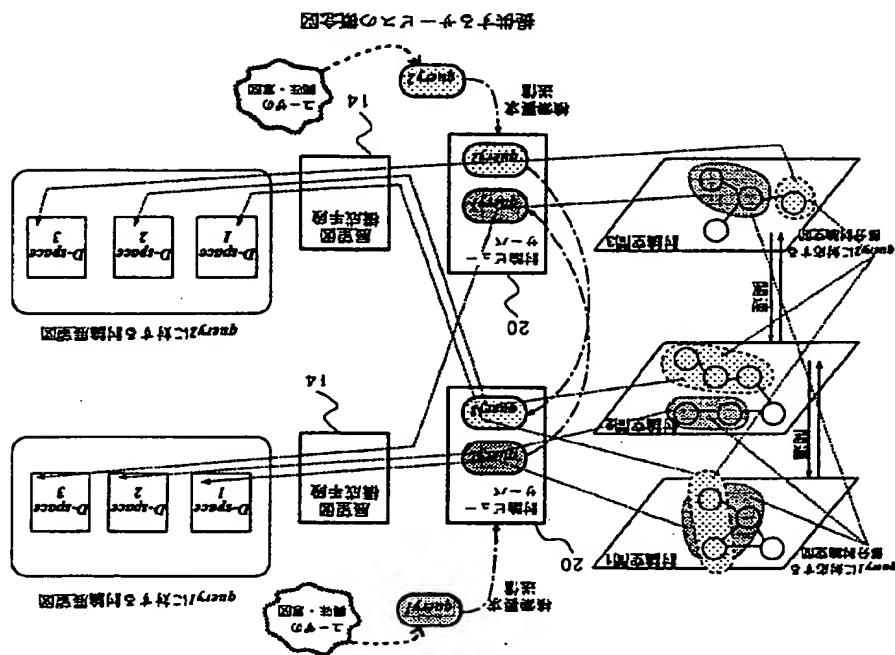


(20)

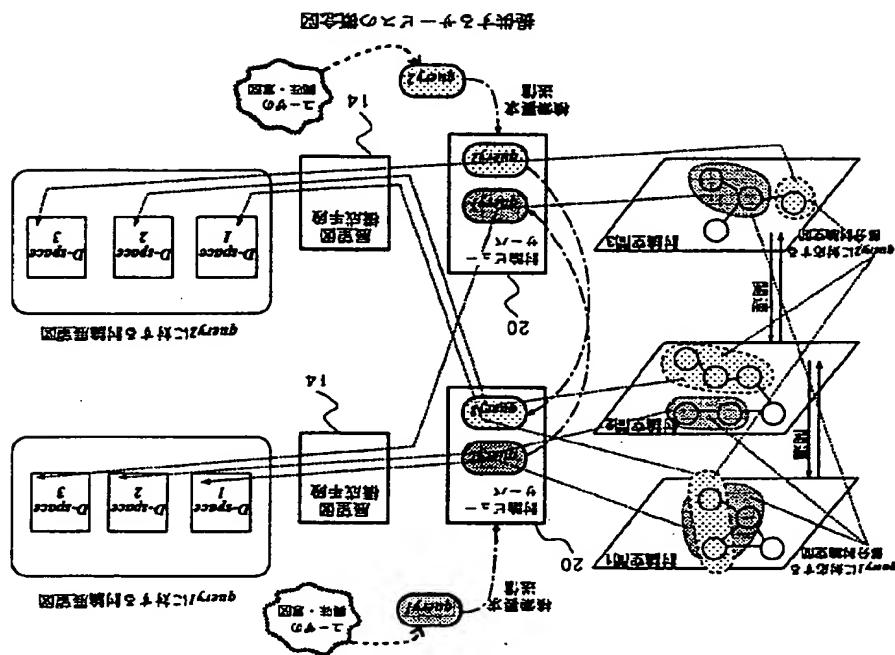
[图2]



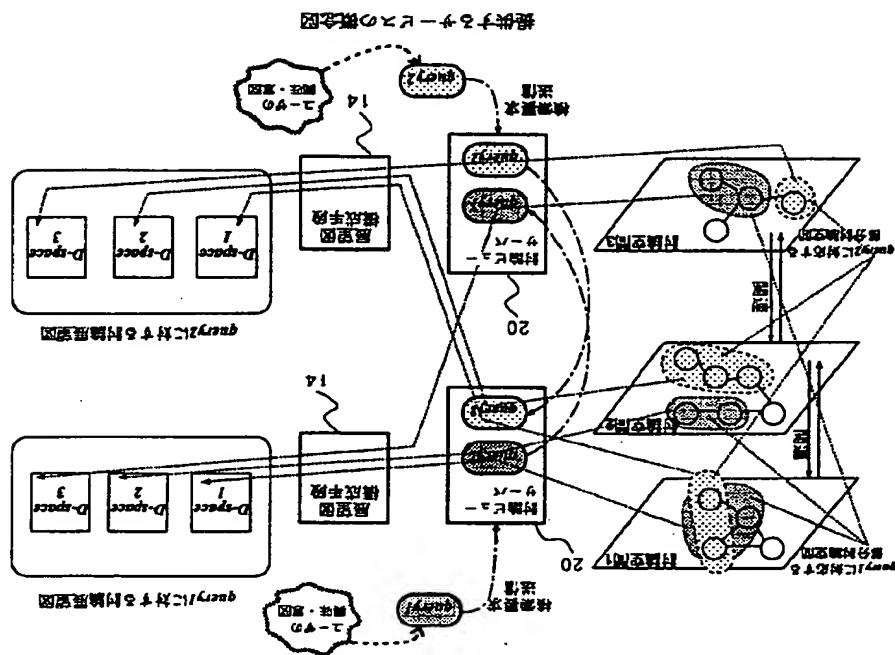
[图3]



[图4]



[图5]



(2)

[図4]

討論空間管理テーブル

討論空間ID	属性リスト	関連リスト	意見リスト
s01@dsvr-a	●		
s02@dsvr-a	●		

属性名	属性値	属性値
討論空間名	システムXYの仕様検討会	議場名
開始日時	1997年7月21日	1995年10月21日
納期	1997年8月31日	納期
意見総数	52	意見総数
参加者数	8	参加者数

討論空間のデータ構造

討論空間操作ID
発信元識別子
討論空間連携情報

討論空間開拓情報のデータ構造

[図5]

討論空間管理テーブル

討論空間ID	属性リスト	関連リスト	意見リスト
s01@dsvr-b	●		
s02@dsvr-b	●		

関連討論空間ID	属性リスト	関連リスト	意見リスト
s42@dsvr-c			
s16@dsvr-b			

討論空間のデータ構造

検索要求ID
処理結果返信先
検索要求伝搬経路
検索要求種別:検索
検索式

討論空間検索要求の構成

(22)

[図5]

関連討論空間ID	属性リスト	関連リスト	意見リスト
s01@dsvr-b	●		
s02@dsvr-b	●		

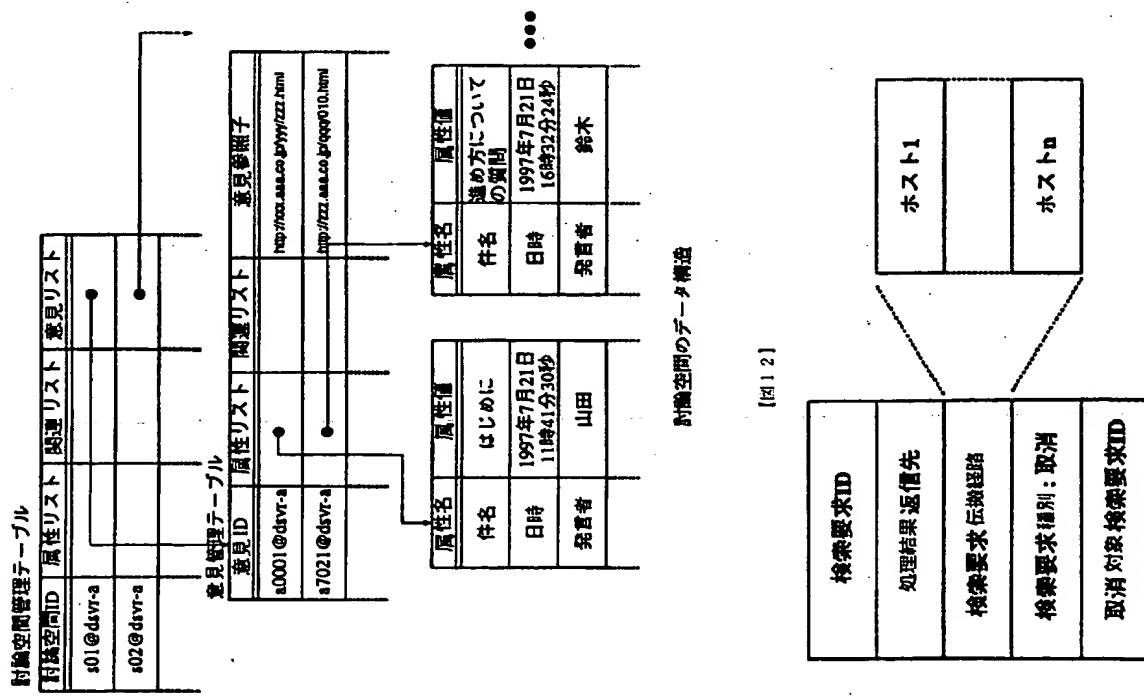
討論空間のデータ構造

関連討論空間ID	属性リスト	関連リスト	意見リスト
s42@dsvr-c			
s16@dsvr-b			

討論空間検索要求の構成

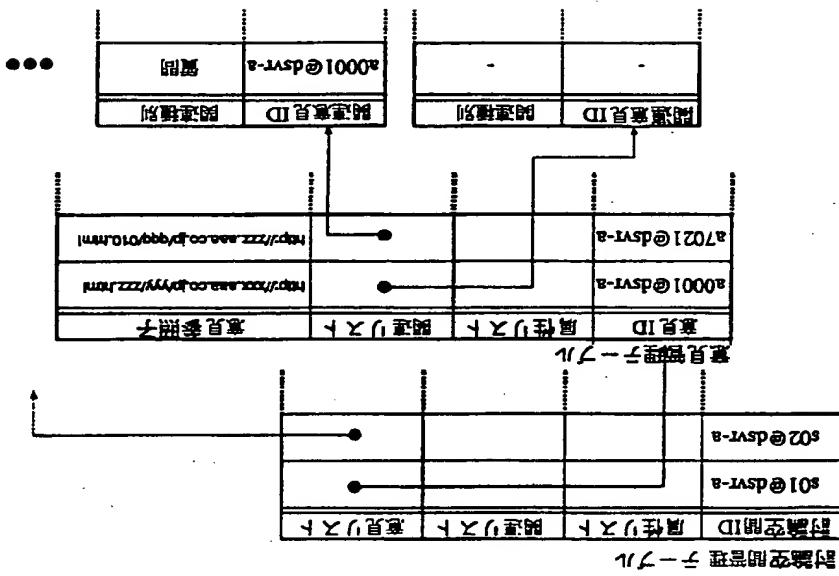
[23]

[24]



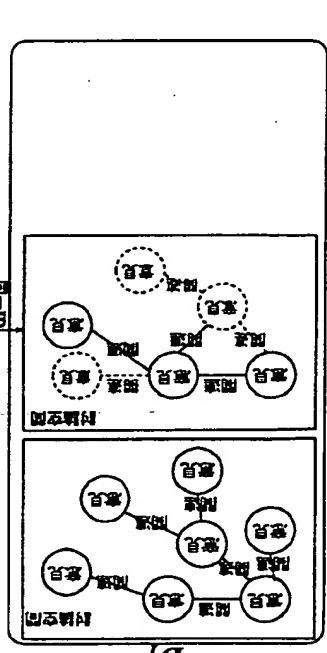
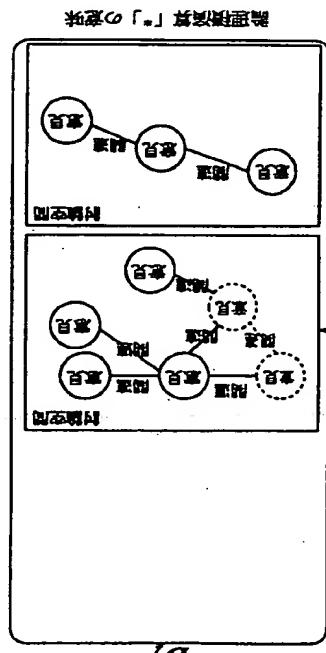
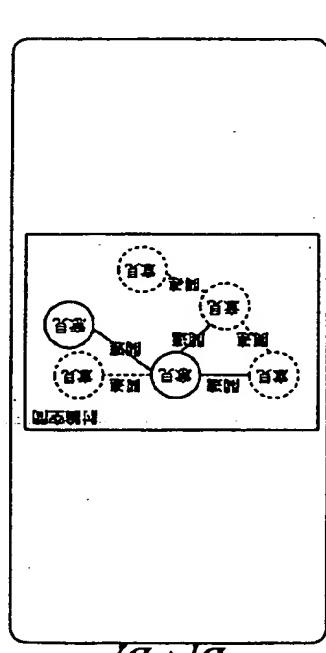
[25]

[26]



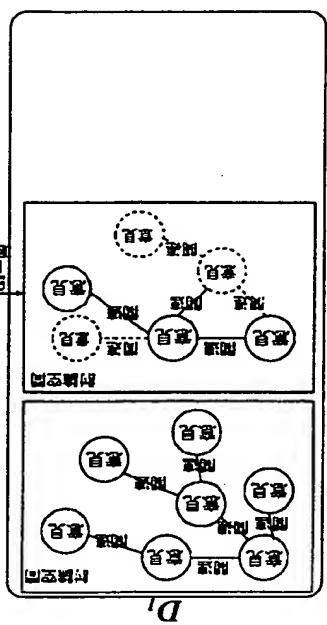
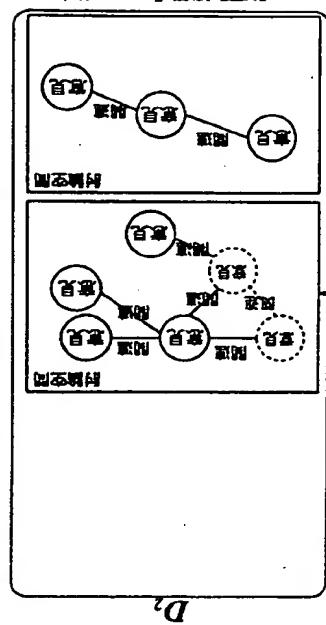
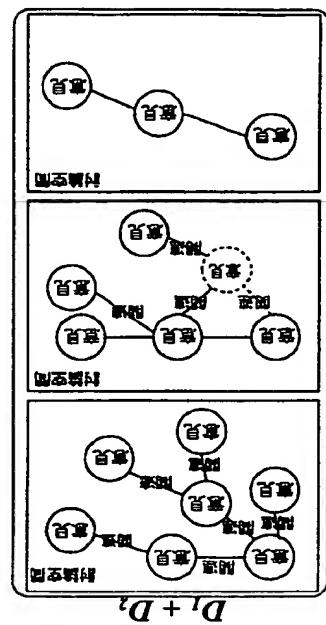
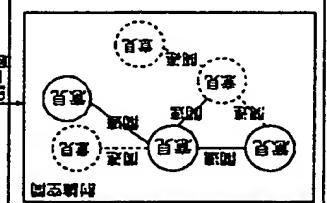
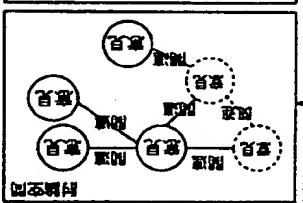
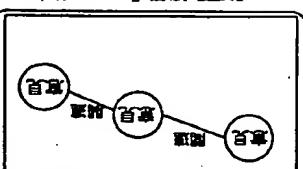
(25)

[28]



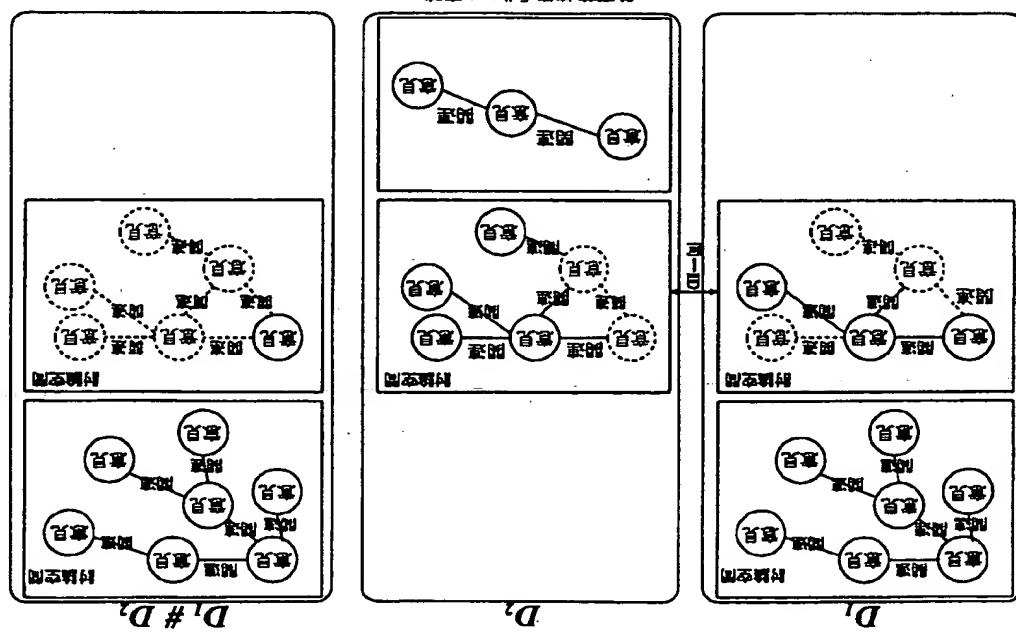
(26)

[29]

 $D_1 * D_2$ D_1 D_2 圖例：實心圓 = 百草
虛心圓 = 草目
線 = 關係
箭頭 = 方向 $D_1 + D_2$ D_1 D_2 圖例：實心圓 = 百草
虛心圓 = 草目
線 = 關係
箭頭 = 方向

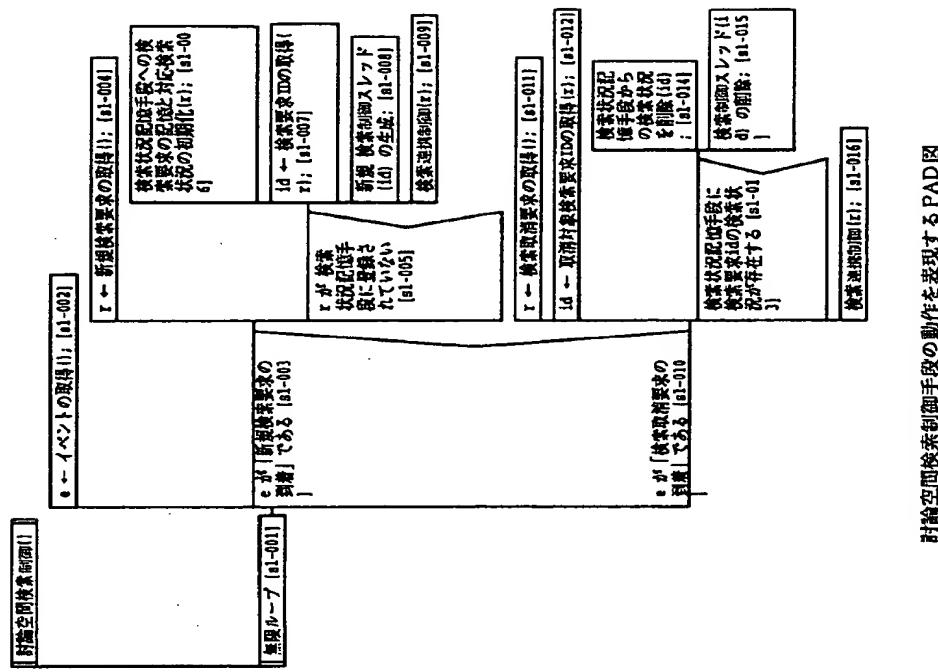
(27)

[図1.0]



(28)

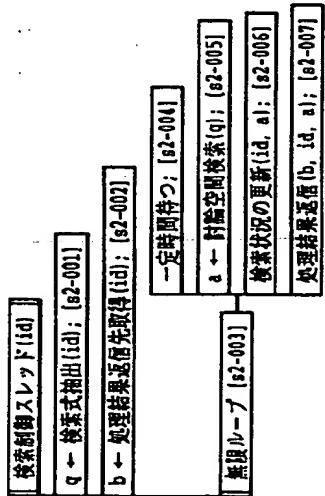
[図1.3]



特許空回換条件制御手段の動作を表現するPAD図

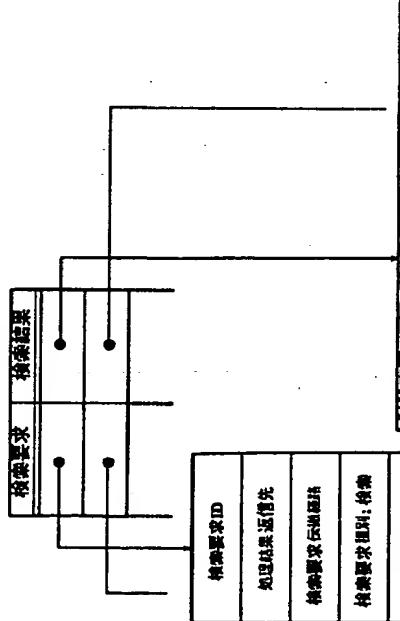
(29)

141



論文誌空間検索制御システムの物理内部を表現するPAD図

151

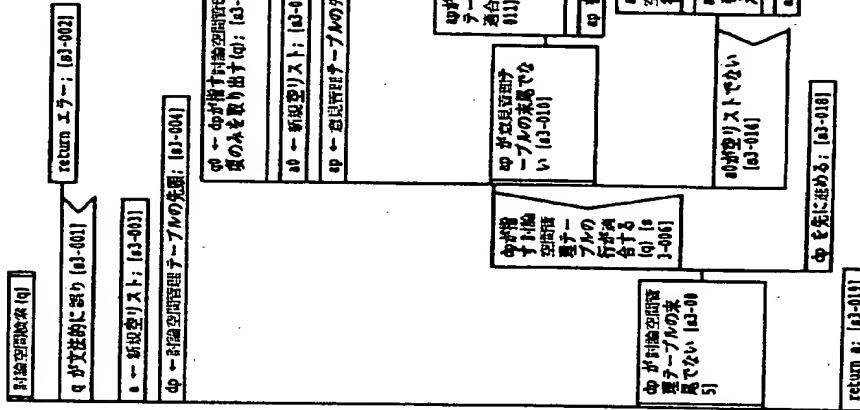


片頭空欄	属性リスト	属性リスト	属性リスト
s01@drvr-a			
s02@drvr-a			

検索状況記憶手段のデータ構造

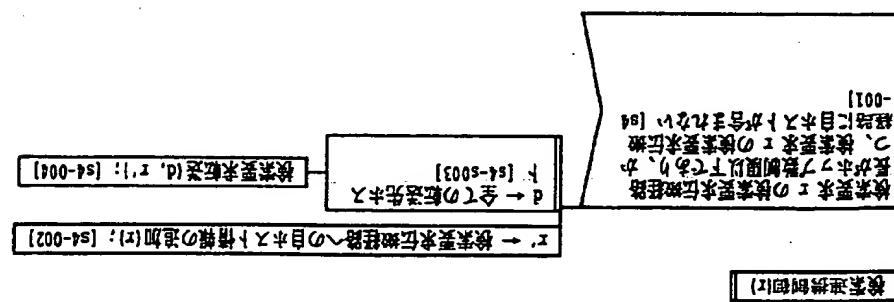
(20)

161

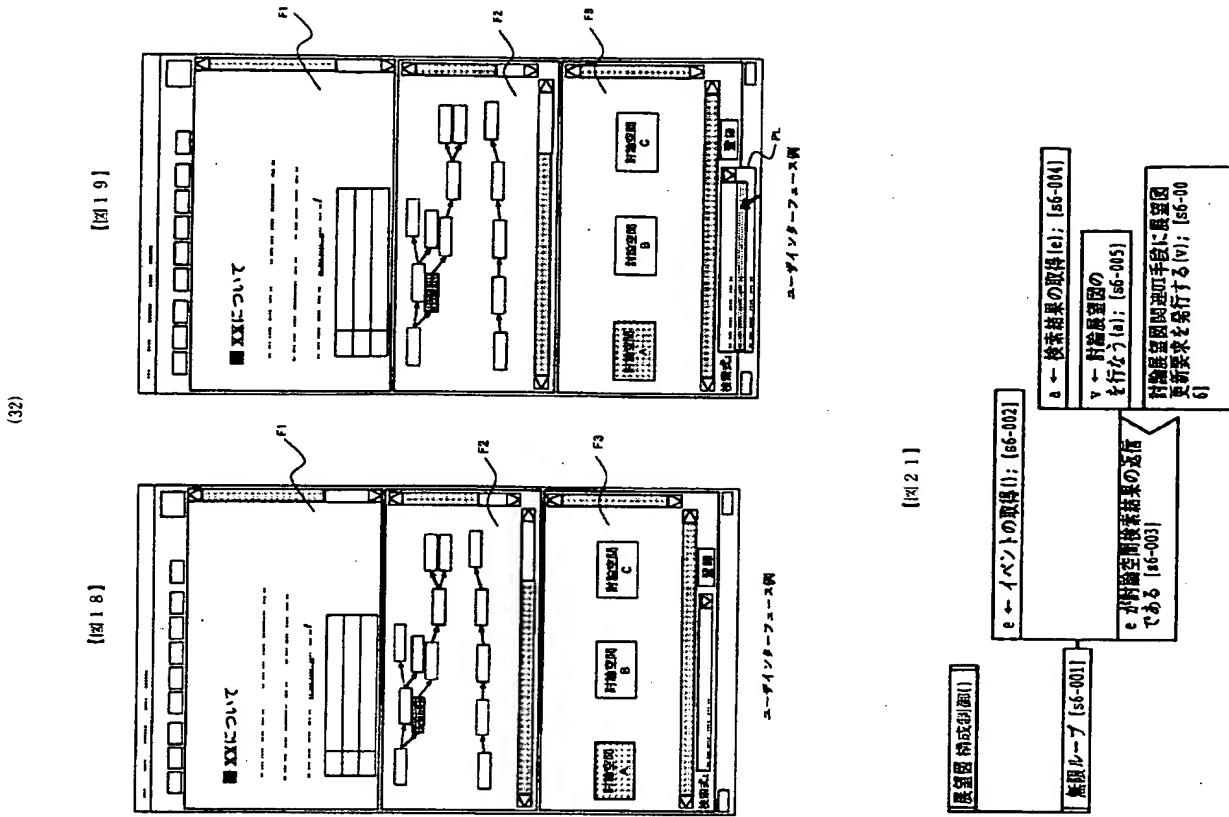


財務監査手段の動作を表現するPAD図

使用手册 | PAD 四显示机车信号

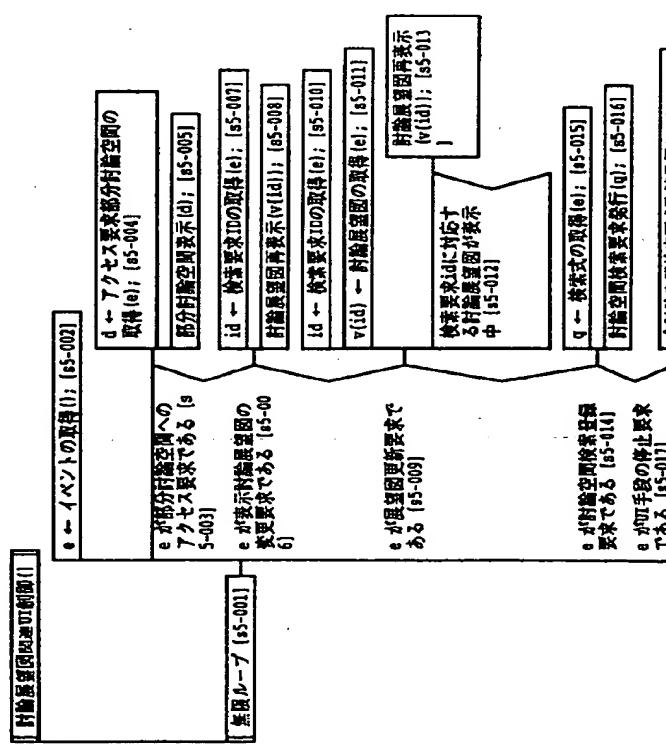


展望図構成手段の動作を表現するPAD図



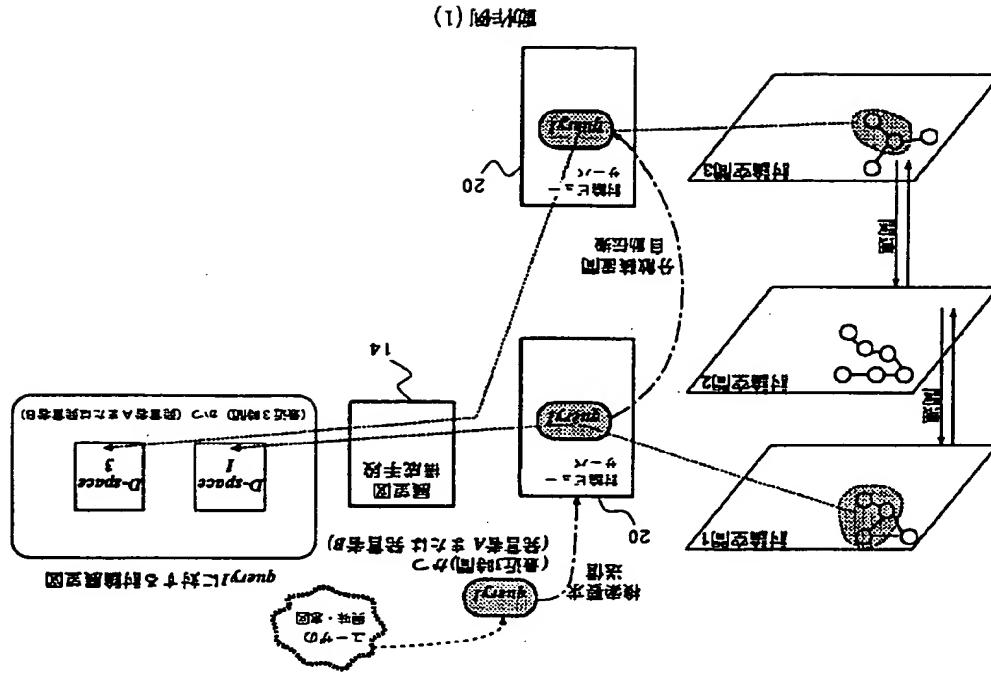
(33)

[図2.0]



(34)

[図2.3]



(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)

(24)

(25)

(26)

(27)

(28)

(29)

(30)

(31)

(32)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)

(24)

(25)

(26)

(27)

(28)

(29)

(30)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)

(24)

(25)

(26)

(27)

(28)

(29)

(30)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)

(24)

(25)

(26)

(27)

(28)

(29)

(30)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)

(24)

(25)

(26)

(27)

(28)

(29)

(30)

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)

(24)

(25)

(26)

(27)

(28)

(29)

(30)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)

(24)

(25)

(26)

(27)

(28)

(29)

(30)

(31)

(32)

(33)

(34)

(35)

(36)

(37)

(38)

(39)

(40)

(41)

(42)

(43)

(44)

(45)

(46)

(47)

(48)

(49)

(50)

(51)

(52)

(53)

(54)

(55)

(56)

(57)

(58)

(59)

(60)

(61)

(62)

(63)

(64)

(65)

(66)

(67)

(68)

(69)

(70)

(71)

(72)

(73)

(74)

(75)

(76)

(77)

(78)

(79)

(80)

(81)

(82)

(83)

(84)

(85)

(86)

(87)

(88)

(89)

(90)

(91)

(92)

(93)

(94)

(95)

(96)

(97)

(98)

(99)

(100)

(101)

(102)

(103)

(104)

(105)

(106)

(107)

(108)

(109)

(110)

(111)

(112)

(113)

(114)

(115)

(116)

(117)

(118)

(119)

(120)

(121)

(122)

(123)

(124)

(125)

(126)

(127)

(128)

(129)

(130)

(131)

(132)

(133)

(134)

(135)

(136)

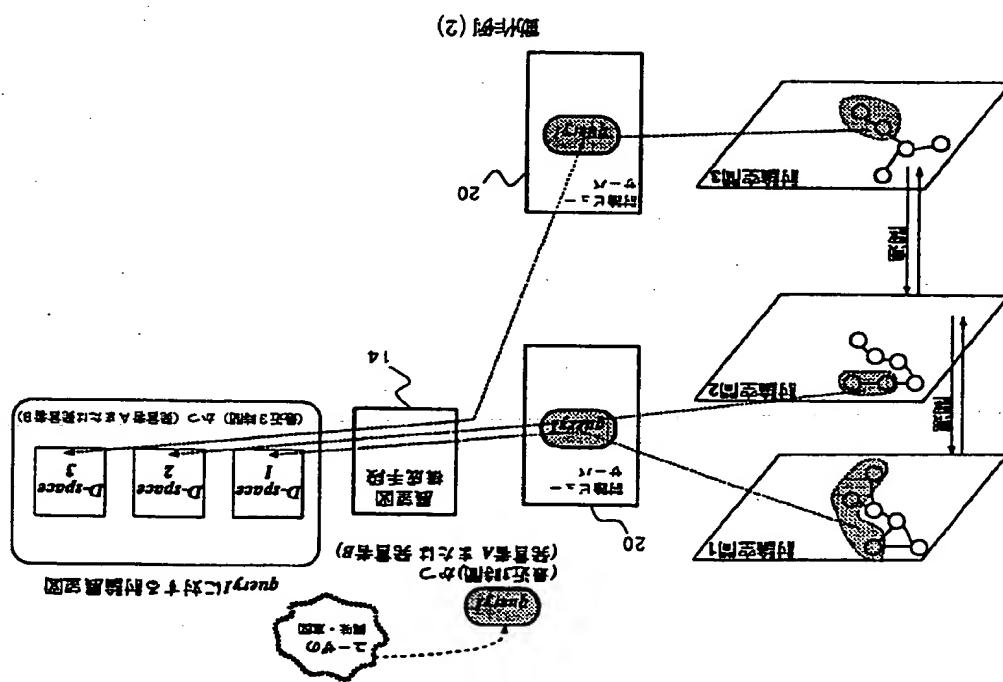
(137)

(138)

(139)

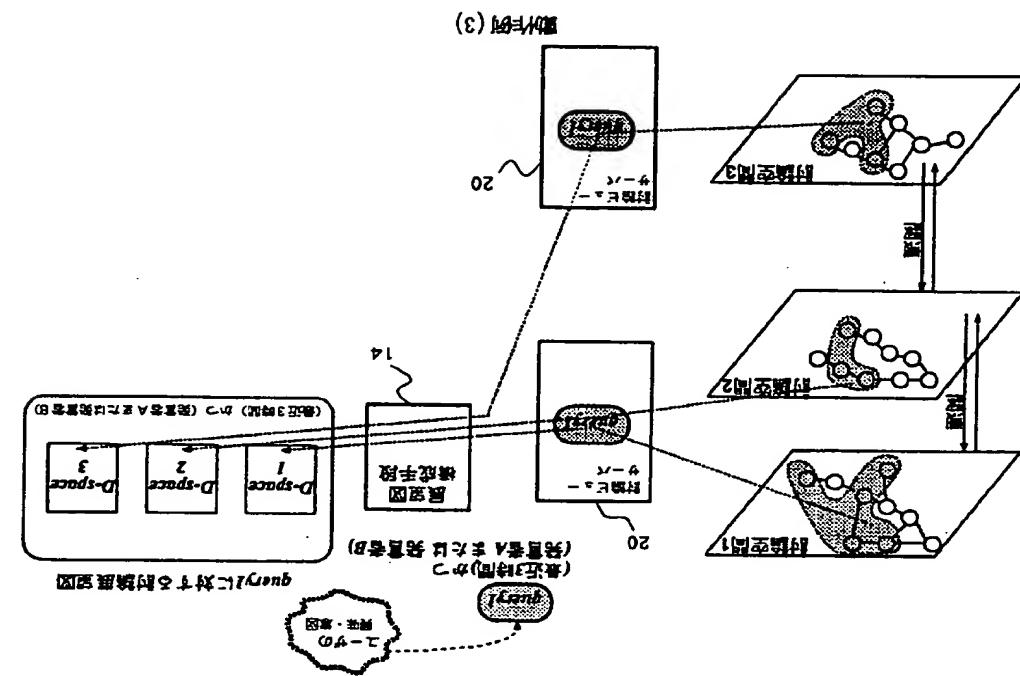
(35)

[図2-4]

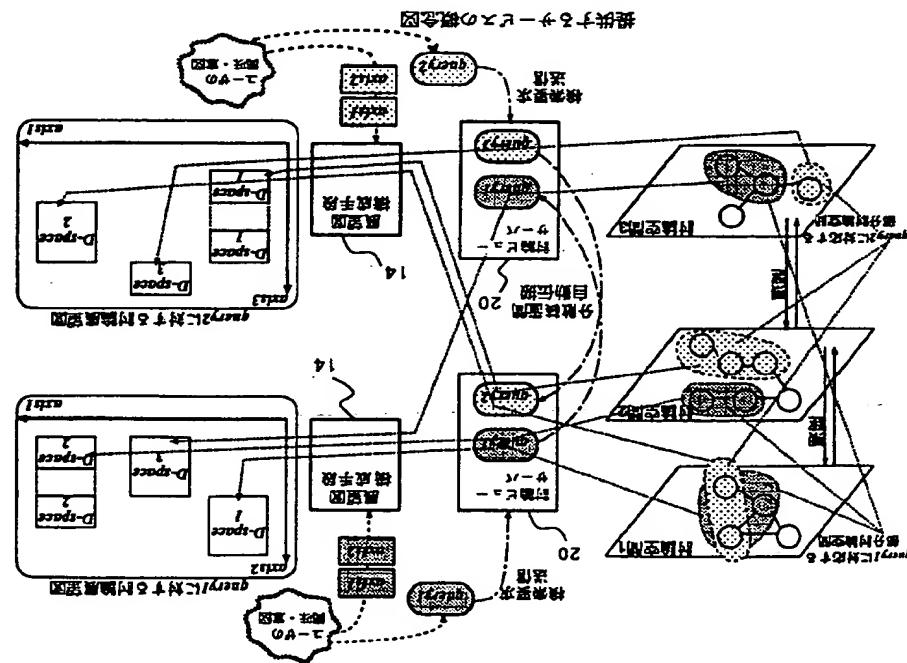


(36)

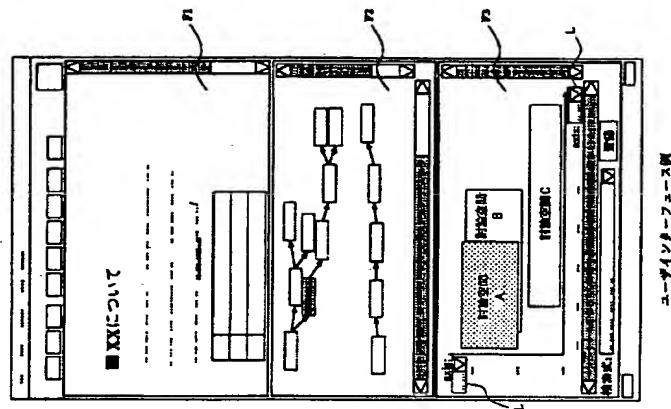
[図2-5]



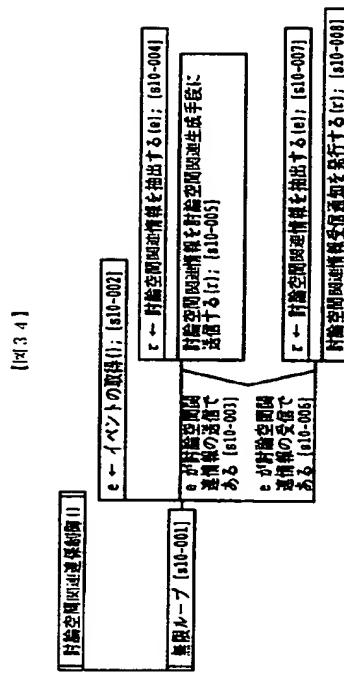
(37)



二七一



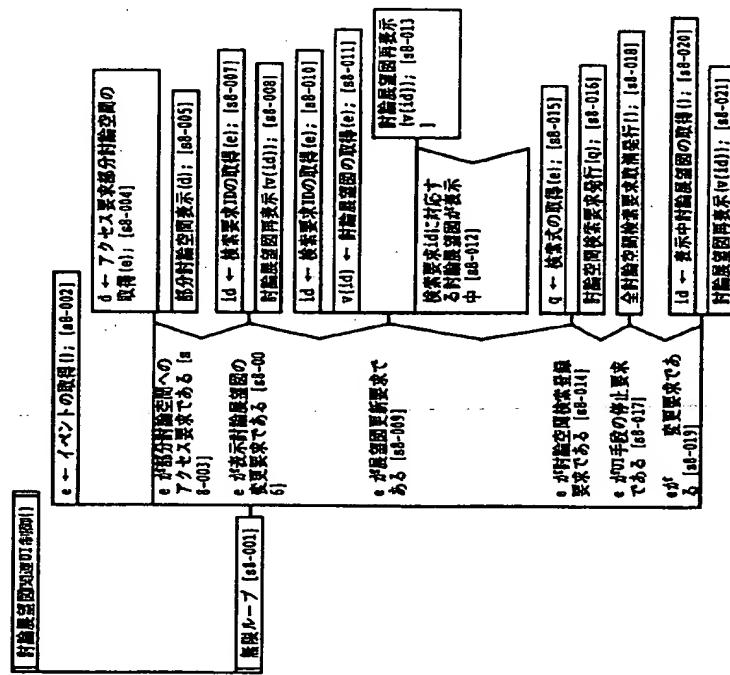
(38)



討論空間開拓技術の動作を表現するPAD

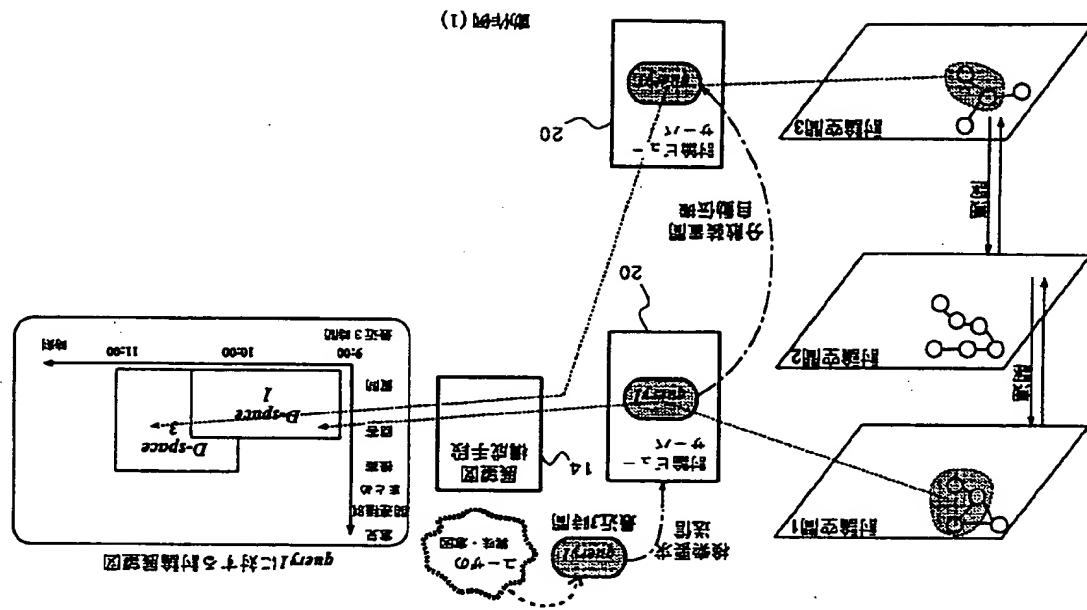
(39)

[図2.8]

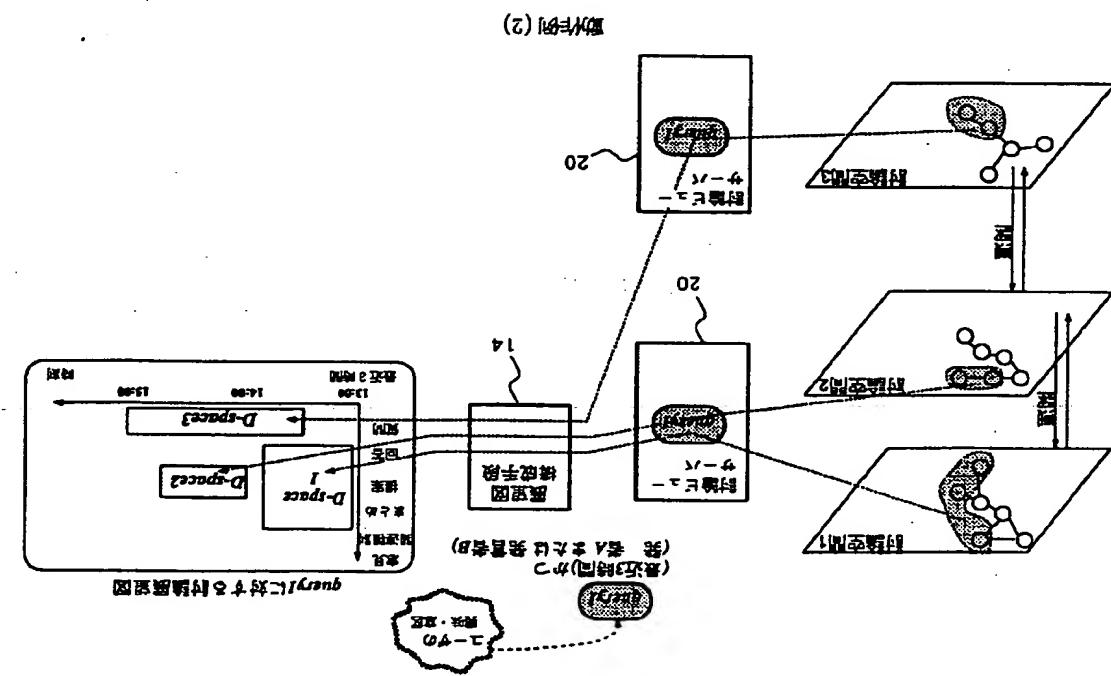


(40)

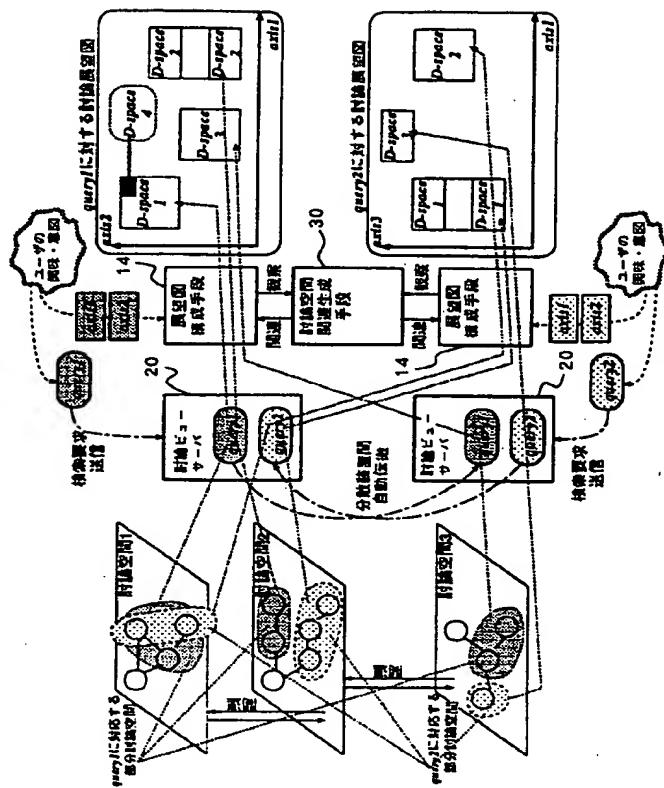
[図2.9]



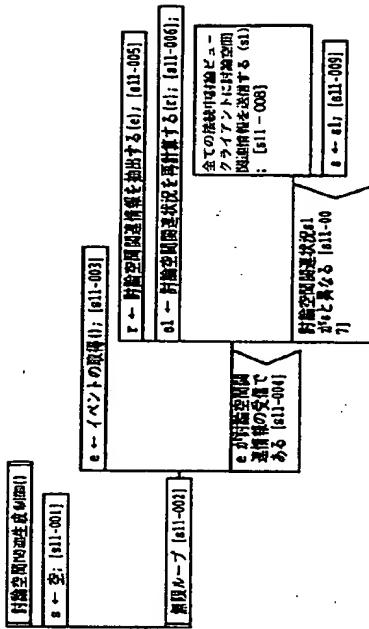
(41)



1431

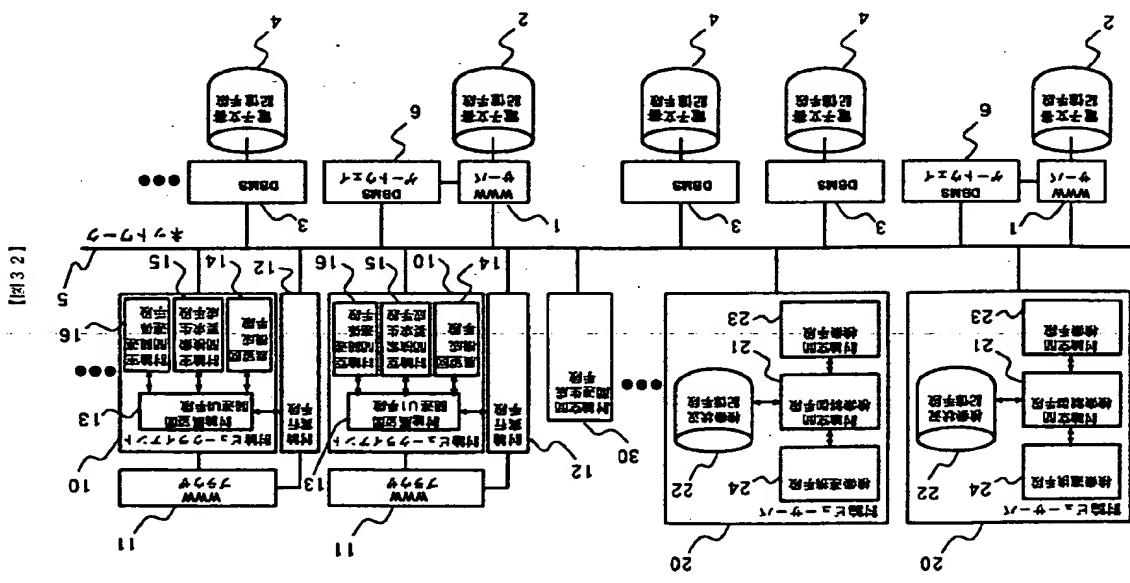


१८

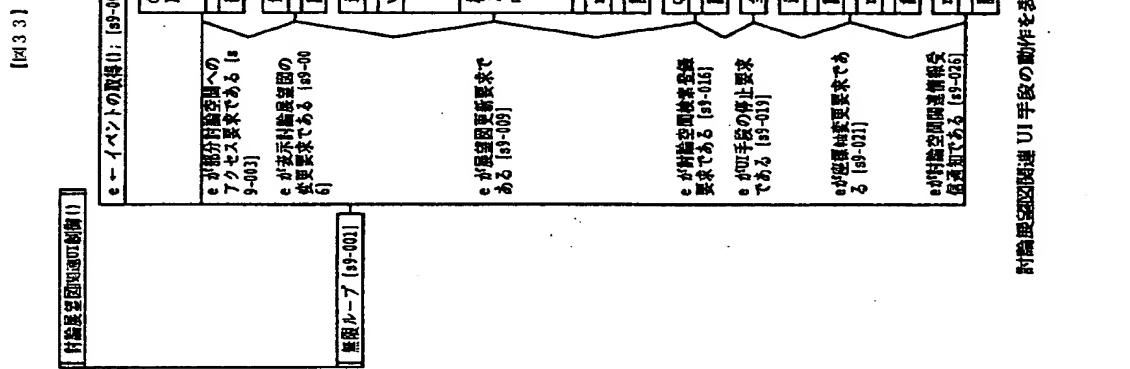


計験空間内連生成手段の動作を表現するPADE

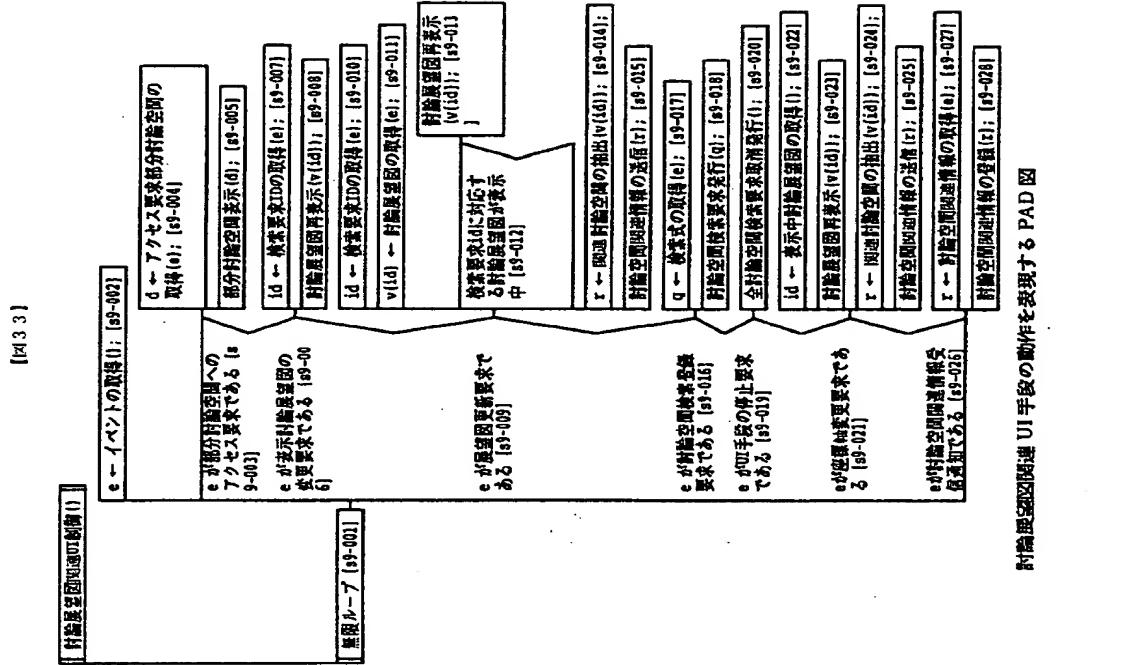
(43)



[32]

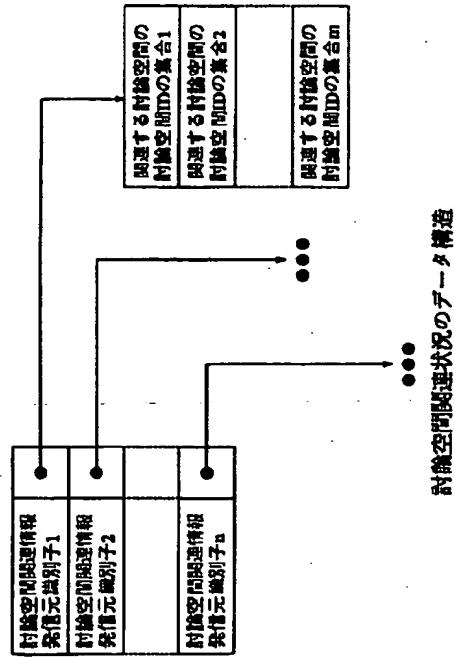


(44)



(45)

[図3.7]



(46)

[図3.8]

